

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 シーケーディ株式会社
 コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 徳田 重友
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東 名

TEL 0568-74-1006

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	55,403	—	2,979	—	2,472	—	△270	—
20年3月期第3四半期	71,807	△7.6	7,537	△23.3	7,400	△25.3	4,780	△18.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△4.29	—
20年3月期第3四半期	72.90	71.42

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年3月期第3四半期	70,471	—	42,557	—	60.4	684.55	—	
20年3月期	75,207	—	45,493	—	60.5	712.45	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 42,557百万円 20年3月期 45,493百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
21年3月期	—	11.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	16.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,600	△27.9	970	△89.8	0	—	△2,020	—	△32.10

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 有

(注)詳細は4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	69,429,349株	20年3月期	69,429,349株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	7,260,894株	20年3月期	5,573,350株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	63,149,668株	20年3月期第3四半期	65,581,232株

※業績予想の適正な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年11月7日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的な修正内容は、平成21年1月30日に別途公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 個別業績予想

平成21年3月期の個別業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,600	△29.8	1,000	△88.9	920	△89.6	△1,100	—	△17.48

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、金融市場の混乱が実態経済へ波及し、景気は後退局面に入り、今後更に厳しい状況が続くものと予想しております。

このような状況のもとで、当社グループは、半導体関連業界を中心とした設備投資の抑制に加え、自動車関連業界、電機関連業界の設備投資需要が減少したことにより売上は厳しさを増し、収益面につきましても売上高の減少、自動機械部門の開発機の増加により原価率が悪化いたしました。また、円高による為替差損の影響、棚卸資産の評価減、投資有価証券の評価損もあり、第3四半期連結累計期間の業績は、売上高55,403百万円（前年同期比△22.8%）、営業利益2,979百万円（前年同期比△60.5%）、経常利益2,472百万円（前年同期比△66.6%）、四半期純損失270百万円（前年同期は4,780百万円の四半期純利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,735百万円減少の70,471百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加はありましたが、売上高の減少に伴う売上債権の減少及び、投資有価証券の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,798百万円減少の27,914百万円となりました。これは主に仕入債務の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,936百万円減少の42,557百万円となりました。これは主に自己株式の購入及び配当金の支払いによるものであります。その結果、自己資本比率は、60.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は5,832百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,226百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、1,622百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益653百万円、減価償却費2,450百万円、売上債権の減少額3,947百万円による資金の増加、仕入債務の減少額2,979百万円、法人税等の支払額1,722百万円による資金の減少によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、1,954百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,854百万円による資金の減少によるものであります。

財務活動の結果得られた資金は、2,756百万円となりました。これは主に、短期及び長期借入金での資金調達4,951百万円による増加、自己株式取得による支出824百万円、親会社の配当金の支払額1,354百万円による資金の減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、金融市場の混乱が実態経済へ波及し、景気は後退局面に入り、今後更に厳しい状況が続くものと予想されます。このような環境のもと当社グループでは、半導体関連業界の設備投資が一段と抑制され、需要回復の時期は不透明な状況であり、自動車関連業界、電機関連業界などの設備投資も抑制され厳しい経営環境が続くものと考えられます。

このような厳しい環境ではありますが、これまで以上に経営の効率化、合理化を実践し、コスト低減活動を強化し連結業績の達成を目指してまいります。

平成20年11月7日に公表しました平成21年3月期の通期業績予想数値を修正いたしました。

詳細につきましては、平成21年1月30日に別途公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ81百万円増加し、税金等調整前四半期純利益は323百万円減少しております。

3. 第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. 在外子会社の収益及び費用は、従来、各社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、在外子会社の重要性が増してきたことから、四半期報告書の制度化を契機として、短期的な為替相場変動の影響を極力少なくし、より実情に即した換算をするために行ったものであります。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は592百万円増加し、営業利益は37百万円、経常利益は116百万円及び税金等調整前四半期純利益は115百万円それぞれ減少しております。

5. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号 平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号 平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、引き続き賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

当社及び国内連結子会社は、一部の機械装置については、従来、耐用年数を11～12年としておりましたが、平成20年度の法人税法の改正を契機として利用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より耐用年数を10年に変更しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ54百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,889	3,611
受取手形及び売掛金	16,315	20,435
営業未収入金	1,879	2,395
商品	93	93
製品	2,793	4,088
半製品	333	411
原材料	9,407	8,774
仕掛品	3,607	2,989
その他	2,864	2,373
貸倒引当金	△23	△24
流動資産合計	43,161	45,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,154	10,886
その他（純額）	12,112	12,577
有形固定資産合計	22,267	23,464
無形固定資産	467	541
投資その他の資産	4,575	6,050
固定資産合計	27,310	30,056
資産合計	70,471	75,207
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,867	13,582
短期借入金	10,802	7,575
未払法人税等	30	452
賞与引当金	757	—
その他の引当金	80	177
その他	3,405	6,254
流動負債合計	24,945	28,042
固定負債		
長期借入金	1,602	5
引当金	221	195
その他	1,145	1,469
固定負債合計	2,968	1,670
負債合計	27,914	29,713

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,612	12,612
利益剰余金	24,166	25,869
自己株式	△4,938	△4,113
株主資本合計	42,856	45,384
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△338	△321
為替換算調整勘定	38	431
評価・換算差額等合計	△299	109
純資産合計	42,557	45,493
負債純資産合計	70,471	75,207

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	55,403
売上原価	41,414
売上総利益	13,989
販売費及び一般管理費	11,009
営業利益	2,979
営業外収益	
受取利息	29
受取配当金	97
その他	222
営業外収益合計	349
営業外費用	
支払利息	96
売上割引	205
為替差損	473
その他	81
営業外費用合計	856
経常利益	2,472
特別利益	
前期損益修正益	53
固定資産売却益	126
その他	35
特別利益合計	215
特別損失	
固定資産売却損	10
固定資産除却損	27
投資有価証券評価損	1,582
たな卸資産評価損	405
その他	8
特別損失合計	2,034
税金等調整前四半期純利益	653
法人税、住民税及び事業税	391
法人税等調整額	532
法人税等合計	924
四半期純損失(△)	△270

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	16,686
売上原価	12,875
売上総利益	3,811
販売費及び一般管理費	3,475
営業利益	335
営業外収益	
受取利息	9
受取配当金	41
その他	78
営業外収益合計	129
営業外費用	
支払利息	35
売上割引	65
為替差損	355
その他	14
営業外費用合計	470
経常損失(△)	△5
特別利益	
固定資産売却益	124
その他	17
特別利益合計	142
特別損失	
固定資産売却損	2
固定資産除却損	10
投資有価証券評価損	840
その他	8
特別損失合計	861
税金等調整前四半期純損失(△)	△723
法人税、住民税及び事業税	△525
法人税等調整額	592
法人税等合計	67
四半期純損失(△)	△791

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	653
減価償却費	2,450
賞与引当金の増減額 (△は減少)	758
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,582
売上債権の増減額 (△は増加)	3,947
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△94
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,979
未払賞与の増減額 (△は減少)	△1,748
その他	△1,260
小計	3,308
利息及び配当金の受取額	127
利息の支払額	△91
法人税等の支払額	△1,722
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,622
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,854
投資有価証券の取得による支出	△303
その他	204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,954
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,951
長期借入れによる収入	2,000
自己株式の取得による支出	△824
配当金の支払額	△1,354
その他	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,756
現金及び現金同等物に係る換算差額	△225
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,199
現金及び現金同等物の期首残高	3,605
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	26
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,832

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	自動機械 部門 (百万円)	機器部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,092	12,594	16,686	—	16,686
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	91	101	(101)	—
計	4,102	12,685	16,788	(101)	16,686
営業利益	477	428	905	(570)	335

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	自動機械 部門 (百万円)	機器部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	12,162	43,240	55,403	—	55,403
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	289	333	(333)	—
計	12,205	43,530	55,736	(333)	55,403
営業利益	1,392	3,543	4,936	(1,956)	2,979

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、自動機械部門、機器部門に区分しております。

2. 各事業区分に属する主要製品

事業区分	機種
自動機械部門	自動機械装置
機器部門	省力機器、空気圧制御機器、駆動機器、空気圧関連機器、流体制御機器、コントロール機器

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	13,721	2,748	216	16,686	—	16,686
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,260	626	—	1,886	(1,886)	—
計	14,982	3,374	216	18,573	(1,886)	16,686
営業利益又は営業損失(△)	532	133	△22	643	(307)	335

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	46,629	8,002	772	55,403	—	55,403
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,811	1,629	—	6,440	(6,440)	—
計	51,440	9,631	772	61,844	(6,440)	55,403
営業利益又は営業損失(△)	4,187	93	△32	4,248	(1,269)	2,979

(注) 1. 国又は地域は、地理的接近度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア：マレーシア、タイ、シンガポール、中国、韓国、台湾

(2) その他：米国、カナダ

〔海外売上高〕

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	3,858	343	4,201
II 連結売上高（百万円）			16,686
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	23.1	2.1	25.2

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	11,077	1,267	12,344
II 連結売上高（百万円）			55,403
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	20.0	2.3	22.3

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア：マレーシア、タイ、シンガポール、台湾、中国、韓国等
 (2) その他：米国、カナダ、中南米、欧州等
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金 額
I 売上高	71,807
II 売上原価	52,195
売上総利益	19,612
III 販売費及び一般管理費	12,074
営業利益	7,537
IV 営業外収益	[399]
受取利息・配当金	122
その他	276
V 営業外費用	[536]
支払利息	80
その他	456
経常利益	7,400
VI 特別利益	851
VII 特別損失	155
税金等調整前四半期純利益	8,096
税金費用	3,315
四半期純利益	4,780

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

(単位:百万円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	8,096
減価償却費	2,610
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△871
退職給付信託設定益	△810
売上債権の増減額(増加:△)	6,541
営業未収入金の増減額(増加:△)	1,088
たな卸資産の増減額(増加:△)	2,068
仕入債務の増減額(減少:△)	△2,220
前受金の増減額(減少:△)	△1,255
その他	△668
小計	14,577
利息及び配当金の受取額	122
利息の支払額	△78
法人税等の支払額	△5,330
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,290
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7,998
投資有価証券の取得による支出	△1,804
その他	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,798
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増減額(減少:△)	4,726
長期借入金の返済による支出	△2
自己株式の取得による支出	△2,606
親会社による配当金の支払額	△1,617
その他	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	485
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	31
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	8
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,462
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,471

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	自動機械 部門 (百万円)	機器部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,371	54,435	71,807	—	71,807
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	97	318	415	△415	—
計	17,468	54,754	72,223	△415	71,807
営業費用	14,048	48,461	62,510	1,759	64,269
営業利益	3,420	6,292	9,712	△2,175	7,537

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	64,045	6,642	1,119	71,807	—	71,807
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,702	1,787	—	6,489	△6,489	—
計	68,747	8,429	1,119	78,297	△6,489	71,807
営業費用	58,656	8,180	1,107	67,944	△3,674	64,269
営業利益	10,091	249	11	10,352	△2,814	7,537

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高 (百万円)	13,843	1,731	15,575
II 連結売上高 (百万円)			71,807
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	19.3%	2.4%	21.7%